

2012年度 日本文化人類学会

第1回理事会 議事録

日時：2012年6月10日（日） 14:00～17:30

会場：東京外国語大学本郷サテライト・7階会議室

出席者：小泉、赤堀、綾部、池田、上杉、岸上、窪田、栗本、曾我、棚橋、出口、中谷、松田、三尾、森山、山本

委任状提出：小田、春日、亀井、佐々木、清水、高倉

欠席者：和崎

〔承認事項〕

1. 第24期・第25期新旧合同理事会議事録
2. 新入会員（24名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 「東日本大震災の被災会員に対する2012年度会費徴収特例措置」について1件の申請があり総務会で承認したことを報告。申請事由を確認の上、事後承認。

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・渡邊欣雄第24期会長から本学会に寄付（100万円）があったことを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・日本学術振興会第3回育志賞の学会推薦候補者募集（JASCA-INFO 配信）ならびに前回理事会で承認された工程に従って選考を実施し、結果を応募者に通知したことを報告。
 - ・常広畜産大学から問い合わせのあった『民族学研究』『文化人類学』誌掲載論文の機関リポジトリへの掲載許諾依頼に対し回答したことを報告。
3. 会計理事報告
 - ・平成24年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）学術定期刊行物の採択内定通知が届き、交付申請書を提出したことを報告。その際、『文化人類学』77巻1号については入札が刊行スケジュール上間に合わないため複数社から見積書を徴した上で交付申請書を作成したこと、それ以降の号についても複数社から見積書を徴し市場調査を実施したことを報告。また、交付申請書には今回の事情を記した理由書を添付したことを報告。
 - ・『文化人類学』77巻2号～4号、JRCA Vol.13の直接出版費の競争入札公告を2012年5月15日～25日の期間に学会ホームページおよび各理事所属機関内掲示を通じて実施し、5月25日に学会事務局にて開札したことを報告。
 - ・科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の平成25年度以降の制度変更について説明。応募区分の変更予定（「国際情報発信強化」の新設）への対応に関する意見交換の結果、「研究成果公開促進費申請検討ワーキンググループ」（松田理事＝代表、赤堀理事、上杉理事、窪田理事、三尾理事、山本理事）を立ち上げ、国際情報発信強化への取り組みに関する中期的方策の検討を開始することとした。
4. 総務理事報告
 - ・人類学関連学会協議会、文化人類学・民俗学関連学会協議会の連絡先リストを更新したこと、人類学関連学会協議会のメーリングリストに会長および担当理事交代の挨拶文を配信したことを報告。
5. 広報理事報告
 - ・会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき6件のJASCA-INFO 配信（「東日本大震災の被災会員に対する2012年度会費徴収特例措置について」、「第25期会長候補の選出について」、「『第3回育志賞』の学会推薦候補者の募集について」、「第46回研究大会・懇親会の事前参加登録について」、「各地区研究懇談会のお知らせ（中部5/19）」、「IUAES会議 マンチェスター2013への参加要請について」）を行ったことを報告。
 - ・人類学関連学会協議会メーリングリスト(CARA)の更新を行ったことを報告。

6. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：投稿数減少の現状説明ののち、各理事に対し投稿の呼びかけを要請。
 - ・課題研究懇談会担当委員会：連絡調整担当の棚橋理事より、課題研究懇談会設置規則改正・同規程を各会代表世話人に配信し、総会での予算案承認までは立替払いで事業を進めるよう要請したことを報告。
 - ・地区研究懇談会：理事会各期の開始時に担当理事が各地区研究懇談会口座の開設と解約を行うことを再確認。
7. 第46回研究大会の準備状況について
 - ・綾部理事より、研究大会準備委員会から提出された資料に基づき参加登録者数等を報告。査読制の実施方法に改善検討の要があることを指摘。
8. 第47回研究大会の日程について
 - ・栗本総務理事より、慶應義塾大学で開催予定であること、日程については調整中であることを報告。
9. 2012年度学会公開シンポジウムの準備状況について
 - ・組織者の高倉理事に代わり、栗本理事より2012年11月10日開催の学会公開シンポジウム（於東北大学）の準備状況ならびに東北大学東北アジア研究センターとの共催、読売新聞社、毎日新聞社、河北新報社の後援が決定したことを報告。

〔審議事項〕

1. 各種委員会の構成について
 - ・棚橋理事より、資料に基づき現時点での委員会構成に関する説明がなされた。
2. 第25期監事について
 - ・新旧合同理事会で承認を得た候補である関本照夫会員、小野澤正喜会員に小泉会長候補が打診し内諾を得たことが報告され、承認された。6月23日開催の評議員会に諮ることとした。
3. 2012年度事業計画（案）について
 - ・棚橋理事より、前回理事会以降に変更された箇所を中心に説明があり、項目毎に確認を行った。
4. 民博連携委員会と学会歴史委員会の職掌について
 - ・2012年度事業計画（案）の「15. 関連諸機関 g. 国立民族学博物館」に記載された事業（案）の内、「文化人類学関係情報データベース作成連携事業に関する協力関係を検討。」について、各種の文献データベース、文献検索システムが整備され、この種のデータベースの必要性がもはやなくなったため、廃止することが承認された。
 - ・上杉理事より、民博関連事業の内、「『人類学者・民族学者』映像記録の閲覧の開始」及び「『人類学者・民族学者』映像記録の国立民族学博物館における公開の準備」については、学会と民博の間で基本的方針に関する交渉や協議がすでに完了しており、閲覧・公開に向けた具体的な作業工程の策定や実施方法の検討等の段階に入ることから、今後は学会歴史委員会が学会の民博との交渉・協議窓口となることが提案され、承認された。なお、本件については学会歴史委員長と協議の上、合意済み。
5. 2011年度決算（含、会計監査報告）・2012年度予算（案）について
 - ・森山理事（第24期会計担当理事）より、2011年度決算について2012年5月21日に第24期監事の小川正恭、田中真砂子両氏による監査が実施されたことを報告。監事より、バックナンバーを保管してある事務局倉庫の管理体制の検討の必要性について指摘を受けたこと、また、将来計画基金の用途について会員に対し計画を説明できるように、との意見を得たことを報告。
 - ・三尾理事より、前回理事会以降に変更された箇所を中心に2012年度予算案の説明があった。
6. 学会50周年記念事業について
 - ・小泉会長候補より、2014年に設立50周年を迎える学会の50周年記念事業について提案があった。審議の結果、50周年記念事業の検討の開始、記念事業のために将来計画基金から本会計へ「学会50周年事業準備金」80万円の移管、2012年度事業計画案への記載、「日本文化人類学会50周年記念事業検討委員会」の設置、WCAA会議の招致に関しWCAA執行部へ提案、の5点が承認された。今回の承認内容を反映した2012年度事業計画（案）、2012年度予算（案）については次回理事会前に理事会メーリングリストで配信することとした。
7. 学会賞選考規則の改正案について
 - ・森山理事より前回理事会以降の変更箇所を中心に説明があり、審議の結果承認された。

8. 2012年度次世代育成セミナーの開催について
 - ・森山理事より、中核となる運営委員を任命したこと、今年度も東日本と西日本の2会場での開催とすることについて説明があり、今後、会場・日程等に関する詳細の決定は森山理事に一任することが承認された。また、発表者募集要項の応募資格について、昨年度は未投稿の論文草稿400字詰め原稿用紙換算60枚程度の提出が条件であったが、50枚程度への変更が承認された。
9. 会員連絡用メーリングリストの運用内規改正案について
 - ・赤堀理事より、変更点について説明があり、審議の上承認された。
10. 名誉会員候補者の理事会推薦について
 - ・棚橋理事より、理事会メーリングリストで推薦受付を行ったが締切までに推薦がなかったことが報告された。従って、「日本文化人類学会名誉会員に関する内規」の第2条2項による理事会からの候補者推薦は行わないことが承認された。
11. その他
 - ・2012年度総会で黙祷を捧げる物故会員について確認を行った。
 - ・6月23日、24日の研究大会スケジュールについて確認を行った。
 - ・次回理事会は6月23日(土)、次々回理事会は7月29日(日)。

以上